

## 神奈川・千葉地東遺跡

訪東遺跡が所在する。

- 1 所在地 神奈川県鎌倉市御成町
- 2 調査期間 一九八四年(昭59)四月～一〇月
- 3 発掘機関 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 4 調査担当者 中田 英・鈴木次郎・服部実喜
- 5 遺跡の種類 集落跡・中世居館跡
- 6 遺跡の年代 弥生時代後期～室町時代
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

千葉地東遺跡は、国鉄鎌倉駅の西側約100mに位置し、遺跡の西側は若宮大路に平行して南北に走る今小路に接する。本遺跡の周

辺には多くの中世遺跡があり、今小路をはさんだ西側に千葉地遺跡、南側には諏



(横須賀)



本遺跡の発掘調査は、鎌倉県税事務所の改築工事に伴って実施された。調査の結果、古墳時代後期の堅穴住居と土壙、鎌倉時代から室町時代の河川・道路・基壇建物・礎石建物・掘立柱建物・溝・井戸・土壤などが検出され、また弥生時代後期から室町時代にかけての遺物が多数出土した。木簡は、呪符が一点(1)、付札が一点(2)、曲物の底板や折敷に墨書のあるものが三点、用途不明の木製品に刻書のあるものが一点(3)の計六点出土した。この他、墨書

